

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム こもれびの家

作成日：平成 29 年 1 月 7 日

市町村受理日：平成 29 年 1 月 13 日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	1	新たに入社した職員が増えた事もあり、今一度職員みんなが同じ方向性を持ってケアの実践が出来るよう、理念の意味・大切さを学ぶ必要があると考えられる。グループホームこもれびの家の運営理念をみんなが再度確認や改めて考える機会を設け目指すべき方向性の意思統一を図る機会が少ない。	そもそもの理念の意味合いや大切なものであるということについて学ぶ機会を作り、職員は理念の必要性・重要性を理解する。理念を認識し、スタッフ全員が同じ方向性を持ってケアの実践に取り組むことが出来る。そして、利用者の生活の質の向上につながる事が出来る。	定期的開催している、全体会議やユニット会議の中で、理念の重要性や必要性を学ぶ機会を作る。その為には、年度初めに内部研修の計画を立てる。「理念チェックシート」を用いて、運営理念を振り返ると共に、ユニット独自の理念を作成する。その理念を念頭におき実践した中で、定期的にチェックシートを用いて評価する。	1年
2	6	身体拘束に関する外部研修を受講する機会はあるが、受講した者が事業所の職員に対してフィードバックする機会が無く、身体拘束にあたる具体的な内容や適切な対応についてなど共通認識できる環境整備が必要である。	身体拘束防止に関する外部研修の参加については可能な限り出席し、参加者にて内部研修を実施する。身体拘束に関する内容や具体的な対応などについて、職員全体での共通認識が持てるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに内部研修の計画を立てる。</li> <li>・全体会議やユニット会議等で研修機会をつくる</li> <li>・研修担当者は、外部研修に参加した者とする。外部研修の参加が出来なかったら、担当者を決めて内部研修を実施する。</li> </ul>	1年
3	35	火災による避難訓練の取り組みはしているが、その他の地震や暴風雨などの当地において想定される災害に対する対応策や訓練が不足している事もあり、災害時の被害が拡大する可能性がある。	当地における災害などを想定した対応策の検討や訓練の継続した実施により、いざという災害時に適切な対応がとれるよう準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに災害時の訓練計画を立てる。</li> <li>・当地における災害を想定した防災マニュアルの作成(火災・地震・暴風雨・噴火など)</li> <li>・地震・暴風雨・噴火などを想定した訓練の実施。</li> </ul>	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。